

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. にじの丘学園の増築を必要最小限に留めるために</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>小中学校の適正規模・適正配置を目的に、7小中学校を統廃合し誕生したにじの丘学園は、開校3年目を迎えました。</p> <p>にじの丘学園の反響もあってか、学区となっている5つの連区では、塩草町を中心に社会増(転出より転入が多い)の傾向がここ数年続いています。</p> <p>しかしながら、にじの丘学園の普通教室数が、数年後には足りなくなることが、データから見えてきており、校舎増築の必要性が現実味を帯びてきています。</p> <p>(次ページへ)</p>	<p>(1) 人口統計から読み取れる、にじの丘学区(道泉・深川・古瀬戸・東明・祖母懐連区)の人口推移について</p> <p>(2) にじの丘学園の適正規模と教室数について</p>	<p>① 本市の統計資料、連区別・年齢別・男女別人口を見たとき、近年のにじの丘学区(道泉・深川・古瀬戸・東明・祖母懐連区)の自然増減(出生・死亡)・社会増減(転入と転出)にどのような傾向が見られるのか伺います。</p> <p>② 今後のにじの丘学区の人口推移について、現在どのような見通しを持っており、どのような要因が大きく影響してくると考えているのか伺います。</p> <p>③ にじの丘学区の人口推移は、にじの丘学園の学級数にどのような影響があり、現状の学級数をどのように評価しているのか伺います。</p> <p>① にじの丘学園の普通教室は、各学年3クラスを想定した27教室と、同じ並びで普通教室に工事不要で転用可能な教室8室の計35教室で構成されています。設計時の教室数算定根拠について伺います。</p> <p>② 令和4年4月1日現在の「瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口」を基に、今後のにじの丘学園の学級数を試算すると、来年以降連続して5クラスの学年が発生してくることも見えてきます。令和4年度は、普通教室27室と、転用可能な教室8室のうち5室を普通教室として使用していますが、このほかに、増築を行わずに、簡易な工事などで普通教室として利用可能な教室は何室あるのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>社会増は歓迎されるものの、にじの丘学園の増築に係る費用は、最小限に抑え、かつ増築の効果を持続させることが期待されます。</p> <p>そのためには、今後の児童生徒数のピークを極力なだらかに長くする工夫が必要なことから、その方法を共に検証することを目的とし質問していきます。</p>		<p>③ ほぼ確定している今後の児童数増加は、転入者数増加によるものであり、大変喜ばしいことですが、その要因は、塩草土地区画整理事業の影響が最も大きいと考えられます。しかしながら本事業は、行政主導の計画であり、にじの丘学園設計当初からすでに事業開始されていることから、計画戸数や販売スケジュールも、わかっていたはずであり、そこにおける人口増加推移は予測可能ではなかったのか、教室数を含む設計に反映できたのではないかと考えますが、見解を伺います。</p> <p>④ これまでの質問を踏まえ、近年の社会増の傾向を見る限り、さらに児童生徒数が増加することはあっても、減少は考えにくいことから、数年後に普通教室数が足りなくなる状態が予想され、にじの丘学園の増築は避けられないと思いますが、どのようにお考えか伺います。</p> <p>⑤ 法令上、小・中学校の標準規模はともに、「12学級以上18学級以下」とされていますが、これを小・中学校それぞれに当てはめると、小学校では「1学年2～3クラス」、中学校では「1学年4～6クラス」となります。小中一貫校としての適正規模をどのように考えているのか伺います。</p> <p>⑥ 本市の人口社会増は歓迎されることですが、にじの丘学園の増築などの現実的な課題と適正規模を踏まえると、ピーク時においても、1学年5クラス以内、つまり1学年175人以内に納まるのが適正範囲内と考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 今後想定される社会増の要因について	<p>① 平成30年4月1日現在から令和4年4月1日現在の「瀬戸市連区別・年齢別・男女別人口」の推移を見ると、にじの丘学区内において、喜ばしいことに、子育て世代の転入が増え、学齢期前の子どもの増加が顕著となっています。今後の転入増加数について、具体的にどのような事柄が関係してくると考えているのか伺います。</p> <p>② 塩草土地区画整理事業については、令和4年3月で保留地の販売が終了しましたが、まだ未着工の土地も多く存在しているように見受けられます。当初の計画戸数は875戸ということでしたが、実際の宅地数はどの程度で、今後、着工が想定できる宅地はどの程度残っているのか伺います。</p> <p>③ にじの丘学区内における、民間事業者によるすべての住宅開発について、現時点でどの程度把握しており、どのような見通しを持っているのか伺います。</p> <p>④ 地域の社会増のピークを一時に集中させず、ピークを平準化させ、ゆるやかに長くすることは、地域の持続的な発展や、地域の担い手の継続性、待機児童を発生させない保育環境、適正な学校規模の継続などに寄与すると考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) にじの丘学園の増築を必要最小限に留めるために	<p>① 本市への転入はもちろんのこと、にじの丘学園に魅力を感じていただいたことによる、にじの丘学区への転入は歓迎されるものです。しかしながら、その影響によるにじの丘学園の増築は、当然ながら本市の予算を伴うものであることから、増築の規模は過大とならず、増築の効果は長く保たれることが望ましいと考えますが、見解を伺います。</p> <p>② 民間事業者による宅地開発については、各種法令を遵守できていれば、そのタイミングや規模など、基本的に行政でコントロールできるものではありません。しかしながら、行政主導による宅地開発については、(3) ④で示したような社会増のピークを平準化させる調整弁のような役割を担えるのではないのでしょうか。</p> <p>③ 現在、祖母懐小学校跡地は、住宅用地・保育園・放課後児童クラブ・公園とする計画が進められています。住宅用地は70～80戸を想定し、まとめて土地を売却する計画ではありますが、現在のスケジュールでは、これから迎えるであろう、にじの丘学区の社会増のピークにぶつかる可能性があるため、工期を2～3期程度に分け、ピークを極力分散させる手法をとってはどうかと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。